

子どもと保護者と教職員とともに考える！



## 人権フォーラム新聞



令和5年8月2日発行第5号

7月19日の参観日に、校内人権問題意見発表会・人権集会が行われました。発表者は、人権について道徳などの時間に学習したことや自分が体験したことを振り返り、そこから学んだことや、これまでの自分を見つめ直して、これからどのように生活していきたいかについて、自分の考えや思いを堂々と発表してくれました。また、その後の人権集会では、生徒たちだけでなく、保護者の方々も参加くださり、意見発表についての感想を述べたり質問をしたりと活発な意見交換が行われ、人権についての理解を深めることができました。最後に、人権・広報委員会が作成して全員に承認された「貞光中学校人権宣言」を、会場にいる全員が声を合わせて読み上げ、人権問題解決に向けて、貞光中学校一丸となって取り組んでいこうとする決意を新たにしました。今回は、各学年2名ずつ計6名の意見発表者の紹介と参加して下さった保護者の方々の感想、「貞光中学校人権宣言」を掲載します。各ご家庭でもお子様と人権について考える機会にさせていただけたらと思います。



### 人権問題意見発表者 紹介

※発表内容に対応するSDGs 17の目標を示しています。

1年 木村 颯人さん

「ちがいのとらえ方」



1年 中川 心晴さん

「人と人との関係性」



2年 田中 佑樹さん

「インクルーシブな社会をめざして」



2年 住友 環奈さん

「差別のない社会をめざして」



3年 西久保元汰さん

「差別の現実から考えたこと」



3年 西村 こまちさん

「差別をなくす仲間に」



## 保護者の皆さまの感想より

※個人情報に関わる部分は削除させていただきました。

- ★インクルーシブな世界になることを望んでいます。人の良いところを見つめ、それを伸ばしていける学習や人としての成長を見守る学校のあり方をみんなで考えていけたらと思います。子どもたちが夢をもって人と人との関わりに積極的に参加して、差別のないすばらしい未来になることを望んでいます。
- ★生徒一人一人の人権に対する想いや学びを聞くことができ、私たち保護者も人権について考える機会を与えていただいたと思います。家庭でできる会話（コミュニケーション）について改めて子どもたちと向き合いたいと思います。
- ★「差別をなくすために一人一人の個性を大事にすべき」というところが印象に残っています。学校生活で同じ制服を着て同じ給食を食べるということが、私はごく普通に思っていました、本当に一人一人が個性を活かして生きやすくなるためには、「全ての人が同じじゃないといけない」というのはおかしいと改めて思いました。
- ★「人は見た目で判断をしてはいけない。個性としてとらえて自分の中で偏見を持たない。」それは、いろんな人権問題にもあり、間違ったとらえ方をしてしまう。人権・差別。世界にはたくさん問題がありますが、日本においても部落差別が未だに解決に向けて進んでいないことを改めて思いました。自分自身も30年前位に教育を受けましたが昔と変わっていないと感じました。そして今は、他の様々な差別があることや差別解消に向けて人権教育をしていることに改めて気づきました。今後も人権教育を進めてほしいと感じました。
- ★誰かの個性を誰かが何か言う必要はない。少数派に目がいくのが日本。もっと他を大切に認め合うともっと楽しいのに。
- ★学年ごとに人権学習をして感じたこと、気づいたことがあり、それぞれの発表の中にこれからの自分の在り方を考えられていてたいへん良かったと思う。また、発表者以外の生徒も真剣に発表を聴いていてすばらしいと思った。障がいの有無にかかわらず、相手の意見や思いに耳を傾け、負のとらえ方ではなく、プラスのとらえ方ができるような日々の生活の中でも良い人間関係を築いていってほしいと思う。根強く残る部落差別等についても学習を続け、知っていくことが大切であると改めて感じた。人の意見に流されないように…。惑わされないように…。
- ★いろいろな視点から人権について学び、考えていて、一人一人の発表を聞いて良かったです。インターネットで情報が検索できてしまうのできちんと知って、誤った情報によって差別することがないようにしたいと思います。
- ★意見発表されたみなさん。落ち着いて堂々と自分の考えを話されていた。日頃から人権学習に取り組んでいる姿を思い浮かべることができてたいへん感心した。話し合いの時間では、はじめこそ遠慮がちだったが、多くの感想を聞くことができました。これからもこの人権意見発表会・人権集会を続けていって、人権意識の高い人間に育ってほしいと心から感じた。
- ★1年生から3年生のそれぞれの人権学習の発表が聞いてよかったです。家庭では、なかなか話し合うことがないので、こういう機会があるのはありがたいです。「相手の気持ちを考えること」や「相手の短所ばかりを口にして、長所はほめない」、「全てを包み込む寛大な心」等、大人の私たちにささる言葉がありました。幼稚園や小学校で同じ教室で過ごすことは、本人にとっても周りの子どもたちにとってもいいことだと思います。小さな頃から関わっているとコミュニケーションの取り方を自然と学んでいるし、身につけているだろうなあと思います。さまざまな差別があるので、身近なことから考えていきたいです。
- ★子どもたちが、学校で学んだ人権学習を家庭に持ち帰り、家族と話をすることによって、人権について考える時間をつくることができました。6名の方の考えや意見を聞くことで、またさらに、人権について学ぶことができ、今後私たちもコミュニケーションをとり、心に壁をつくらず、行動を起こすことで今までとは違った人間関係ができそうです。誰もが怖さがありますが、行動を起こしたいです。
- ★中学生としての考え、そして、これからの自分はどうかあるべきかと、とてもすばらしい発表でした。私も学生の時は、学校で学び、考えることをしていたけれど、成長するほど、日々の忙しさを理由に人権について考えることから離れているように思います。この会をきっかけに子どもたちと話し、これからどうすべきなのかと時間をとりたいと思います。
- ★子どもたちの発表を聞いて、改めて人権問題の深刻さを感じました。すばらしい発表に感謝です。真剣に向き合い貞光中学校の人権宣言のような学校になることを節に願います。

★（「貞光中学校人権宣言」を裏面に掲載しています！）

貞光中学校人権宣言を紹介します！



## 貞光中学校人権宣言

### 前文

私たち貞光中学校生徒は、  
『互いを思いやり, 優しさと笑顔が溢れる学校』,  
『誰一人取り残すことなく, 個性が花開く学校』,  
『夢に向かって一步一步前進できる学校』  
をめざし, ともに学び, ともに支え合うかけがえのない仲間と  
素晴らしい学校づくりを行うことを宣言します。

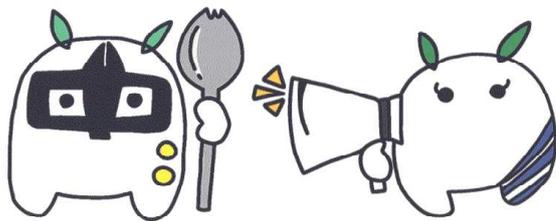
第1条 私たちは, いじめをしない・させない・見逃さない学校をつくります。

第2条 私たちは, 互いの良いところを見つけて伝え合い, 個性を尊重します。

第3条 私たちは, 自分の言葉や行動に責任をもち, 互いの信頼関係を築きます。

第4条 私たちは, 互いの夢を応援し合い, ともに努力を惜しまない生活をします。

第5条 私たちは, すべての人の人権を大切にできるように行動します。



令和5年7月19日 人権・広報委員会

